

# Toriya English Style

## What do we learn?



コミュニケーションを支える4つのキーワード

# Research English Class

## How do we learn?

授業の流れ		低学年：15時間，中学年：25時間，高学年：35時間＋3時間
導入	あいさつ	HRT が主となって進めるが，ALT のネイティブ英語の音声をできるだけ多く聞かせるように意識する。
	つかむ	「ストーリー性のある展開」によって，児童が本時の課題に気付くような意図的な仕掛けをする。
	ふれる	歌やリズムチャンツ，English Book の活用などで，本時に使用する語彙や表現にふれ，慣れ親しむ。
展開	○いかす Activity①	慣れ親しんだ語彙や表現を用いて簡単で短時間にできる「クイズやゲーム的な活動」を行うことによって，学習意欲を高め，学んだことを適用する。
	◎いかす Activity②	目的・相手・状況に応じた場面設定の工夫をしたり，他教科と関連させたりする。ICT を有効に活用しながら，慣れ親しんだ語彙や表現を用いて自分の思いや考えを伝え合い深め合う「コミュニケーション活動」によって，思考・判断・表現し，学んだことを活用する。
終末	振り返る	本時で学んだことを「振り返りカード」に書いて発表し合う。「CAN-DO Adventure」でメタ認知を図る。（自分や友達のよかったこと，次がんばりたいこと）
	あいさつ	ALT と温かい気持ちになるように，Goodbye song の歌を歌ったり，あいさつをしたりして終える。
評価		HRT と ALT で目指す児童の具体的な姿を見取る。



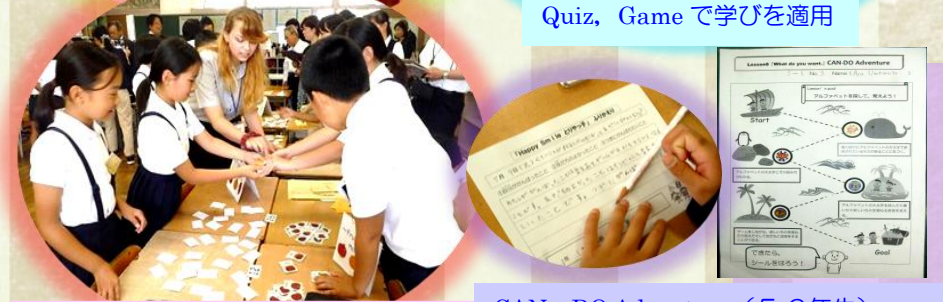
HRT と ALT のデモンストラーションから課題をつかむ

ALT のネイティブな英語の音声にふれる



導入に English Book を活用

Quiz, Game で学びを適用



コミュニケーション活動で学びを活用

CAN-DO Adventure (5,6年生), 振り返りカード (1~6年生) で評価